



まほら

2022.10 N05

LHR の活動の振り返り

皆さん 10 月 18 日に実施された読書 LHR の授業へのご協力ありがとうございました。今回の授業を通して沢山の本に触れられたと思います。皆さんは、興味を持った本を見つけることができましたか？今回の授業で先月に比べて現時点での貸し出し冊数が約 7 倍にも増加し、沢山の方に本と触れ合っていただき、図書部としてもとても嬉しく思います。今回借りた本や今までに借りている本も、1 週間の期限内に返却をお願いします。

今月の展示

今月は、スポーツやハロウィンに関する本を展示しています。今月は遠行を控えているので、それに備えて読んでみてください。また、ハロウィンをテーマにしたお菓子作りの本なども置いてあるのでこの機会に挑戦してみるのはいかがでしょうか。

図書部からのお願い

図書館に入館する際に、荷物を持ったまま入室する生徒が見受けられます。入室する際は、入り口付近の荷物置き場に荷物を置き、必要なものだけを持って入室するようお願いいたします。



□□ 錦江湾高校推薦図書 2022 □□③

英語科 先田先生 おすすめ

『日本人のちょっとヘンな英語』

デイビット・セイン著 ((株)アスコム)

間違いやすい英語の表記がマンガで、おもしろおかしく紹介されています。

”How are you?”や”Good bye”などなにげなく知っている簡単な表現も、実はネイティブには全然違う意味に聞こえています。

理科 牧内先生 おすすめ

『イチローフィールド』丹羽 政善著

(日本経済新聞出版社)

誰もが知る野球選手の1人であるイチロー選手。独自のスタイル・考え方を貫き通し、数々の偉業を成し遂げてきた。何かにつまずいた時、壁にぶちあたった時に、よく手にする本です。

野球を全く知らない人でも、学べるものがたくさんある本です。ぜひ読んでください。

地歴公民科 岩松先生 おすすめ

『10歳の君に贈る心を強くする26の言葉』

岩村 太郎著(えほんの杜)

昔の人が残してくれた言葉が、とても易しく説明されていて、読みやすいうえに納得できる内容が多いですね。

数学科 指宿先生 おすすめ

『解きたくなる数学』佐藤雅彦, 大島遼, 廣瀬隼也著

(岩波書店)

あの「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが、これまでにない数学問題集を作りました。そこには、ひと目で心を奪われる問題ばかり。数学が苦手な人も得意な人も魅力的な写真とグラフィックで表現された23題にきっと夢中になるでしょう。論理の組み立てが学べ、思考のジャンプが身につきます。

まほら館にあるので、ぜひ手に取ってみてください。

国語科 平山先生 おすすめ

『推し、燃ゆ』宇佐美りん著

(河出書房新社)

2020年、芥川賞受賞作。著者は、受賞時21歳。「推し」の存在と自分の「生」が重なり合う感覚が、見事に描写されていると思います。私自身は、「推しの炎上」とは無縁の生活をしていますが、当時高3だった娘に薦められて読みました。

単行本128ページ。スラスラと読めてしまう文体と分量も、みなさんへのおすすめポイントです。

理科 稲本先生 おすすめ

『火定(かじょう)』澤田 瞳子著

(PHP 文芸文庫)

奈良時代に、感染症が猛威を振るった時を舞台とした小説です。

病気から人々を救うために必死に感染症に向き合った人々の話です。

保健体育科 佐々木先生 おすすめ

『「福」に憑かれた男』喜多川 泰著

(サンマーク文庫)

父親に代わり、本屋を継いだ主人公。経営は軌道に乗らず、閉店の危機を迎える。そんな主人公にもたらされる数々の教え。

人生になぜ逆境が訪れるのか、本当に豊かに生きるために人は何をすべきで、何を学ぶべきなのか。

この物語には、逆境を乗り越え、願いを実現するために知るべき「ヒミツ」が記されています。

理科 北迫先生 おすすめ

『愛なき世界』三浦 しをん著

(中央公論新社)

理系の大学へ進学し、研究したいと思っている人には是非読んでほしいです。

実験器具や研究の合間のイベントなど、まさに自分が体験してきた生活そのものでした。

大学の研究生活ってどんな風だろうというのを疑似体験できて、勉強や研究のモチベーションになると思いますよ!!

